

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」

平成 29 年 12 月 28 日
村山 章

この世のなかには無数の組織が存在します。家庭、学校、会社、県、国、地球社会などなど、少し思い浮かべるだけで大きく広がります。新たに生まれる組織もあれば、消えてなくなる組織もあります。ただ、組織と言っても人の集まりなので、むしろ共同体と言いたいですね。確かに競争原理が働かなかった共産主義のソ連は崩壊しました。一方、日本では、公正かつ自由な競争によって経済を発展させて行こうという考え方で法律が形作られています。闊達な競争があるから経済がここまで発展できたのだと思います。したがって会社は常に競争のなかにあります。利益を出さないと発展できませんし、赤字では継続できません。そのためには、老若男女みんなが共同体意識をもってお互いに協力し、仕事を通してより健康になり、個々に成長していくことが大切なのではないでしょうか。

日本人は元々農耕民族で共同体意識が強かったのだと思います。近所の人が他界すると周りの住人がお米を持ち寄り、みんなが協力して葬儀を営んでいたことを子供心に覚えています。祭りや盆踊りもみんな準備し、みんな楽しんでいました。ただ、その反面、しきたりやしらがらみが付いて回る煩わしさも多々ありました。時代は流れて現代社会は工業化、情報化が進んで、周りとの関係がもたらす煩わしさはなくなりましたが反面、無縁社会と言われるようになりました。このような時代状況にあって本当に必要なのは共同体意識ではないでしょうか。

自分さえよければよいというような感覚にならないように気を付けて、人様の役に立ち、喜ばれることが最大の幸福感を届けてくれると知りましょう。人間は元々一人で生きてはいけないのですから、個人主義的考えは捨てるべきなのです。もちろん全体主義を目指すのではなく、あくまで共同体を大切にすることです。

日本固有の文化である相手を思うおもてなし感覚と、この共同体意識が世界を救うのかも知れません。